



此代

發白八百部

小倉雄嶺遺稿

下

文庫	合三 与三	藤井
冊之内	第	門第
卷	番	号





俳諧發句八百題 目錄

秋之部

芭蕉	萩 <small>十一</small>	女郎花	桐一葉	白露	燈籠	草市	星午向	残暑 <small>三</small>	文月 <small>初</small>
藤袴 <small>十一</small>	鷄頭	桔梗 <small>十</small>	柳散	露珠	高燈籠	魂祭	星迎	花火	立秋
水引花	葉鷄頭	鼠尾草	朝顔 <small>九</small>	草露 <small>八</small>	擬待	迎火	星合	初嵐	今朝の秋 <small>二</small>
花野	紫苑	萩	木槿	露時雨	踊 <small>七</small>	迎鐘 <small>六</small>	銀河	稻妻	來秋
草花	我木香	白萩	白木槿	露	露 <small>六</small>	送火	盆の月 <small>五</small>	七夕 <small>四</small>	初秋

目一

其の
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

	秋混雜	秋暮	未枯	木綿摘	拵	新酒	九月	秋雨	秋蝶	鷄 <small>廿五丁</small>
		秋深 <small>ニ</small>	鹿	竜田姫	栗	九月菊	弁市	秋山	秋風	渡鳥
		行秋	松茸 <small>廿三丁</small>	紅葉	推實 <small>廿二丁</small>	菊	十三夜	砧	秋水	色鳥
		各迎 <small>廿四丁</small>	茸狩	葛紅葉 <small>廿二丁</small>	木の實	黄菊 <small>廿二丁</small>	后月	秋燭	野分 <small>廿二丁</small>	掠鳥
		九月各	秋夕	草紅葉	葉蛭	野菜	后月雨 <small>廿九丁</small>	扇置 <small>廿六丁</small>	秋霜	鴨 <small>廿六丁</small>

落穂	木賊刈	龍蟠	初紅葉	初汐	月の雨	小望月 <small>十丁</small>	朝寒	案山子	蟬	西瓜	芙蓉
初鴈	稻	荔枝	梅燻	放生會	月	名月	夜寒 <small>廿三丁</small>	落水 <small>廿二丁</small>	窟馬 <small>廿三丁</small>	蛸	稻花
渡鴈	稻川	天瓜	芒	蛸鮎 <small>廿二丁</small>	既望 <small>廿一丁</small>	今日の月	長夜	葉月	馬追馬	秋蟬	蕎麥花 <small>廿三丁</small>
鴈	田川	鬼灯 <small>廿三丁</small>	花薄 <small>廿三丁</small>	崩魚梁	秋月	月今宵	三日月	八朔	蜻蛉	蟲 <small>廿四丁</small>	絲瓜
鴨	掛稻 <small>廿四丁</small>	番椒	尾花	角力	星月夜	月見 <small>廿九丁</small>	待宵	冷 <small>廿九丁</small>	鳴子	蟋蟀	瓢

紙衣	冬籠	火桶	雪見	水	霜	霰	十夜	神送	十月	
亭			九丁						初	
布圍	冬構	湯婆	雪打	氷柱	朝霜	小夜霰	時雨會	神留守	神照月	冬之部
		寺	十	八丁		五丁				
頭巾	摺	火鉢	雪吹	氷	霜夜	夕時雨	御命講	神迎	小春	
				十丁	七丁	六丁		三丁	二丁	
寒	炭	埋火	雪車	初雪	霜柱	冬雨	御取越	夷講	立冬	
十日										
冬日	余	口切	機	雪	初氷	初霜	初時雨	達磨忌	初冬	

鷄卵酒	納豆	曆賣	鷓鴣	小鴨	細代守	枯菊	石蒜花	批把花	帶花	木葉散	冬月
	六丁	七丁	七丁				七丁	七丁			
鷹	河豚	里神菜	冬蠅	千鳥	孫	麥蒔	枯蓮	ハツ手花	冬木櫻	落葉	冬山
九丁									五丁		六丁
暖鳥	鯨	子祭	霜月	友千鳥	生海鼠	大根曳	枯尾花	冬牡丹	枯柳	紅葉散	冬田
				七丁						六丁	
寒苦鳥	藥喰	空也忌	冬至	浮羅鳥	水鳥	干菜	枯薄	寒菊	茶花	冬枯	冬野
事始	生姜酒	鉢扣	冬至梅	鴛鴦	鴨	葱	枯芦	水仙	山茶花	冬木立	枯野
					廿四丁	七丁	七丁				五丁

目三

師走	臘八 <small>世丁</small>	寒入	寒月	寒声
寒念佛	冬椿 <small>世丁</small>	冬梅	寒梅	煤拂
衣配	格とん <small>世丁</small>	年取	厄拂	年内立春
餅糰	節季候	年の市 <small>世丁</small>	年忘	歳暮
行年	年木 <small>世丁</small>	年の坂	年の尾	春待
春近 <small>世丁</small>	春隣	大晦日	除夜	岡見
生夜	冬混雜			

俳諧藪白の百題秋の部

小菘庵確嶺選
柳廼屋風齋校

文月

立秋

文月や人のむと松小よる、
 文月や後のふくれし冬の唱
 文月や意の子木しるはて 信州 如月 芭
 文月や猶抱ふ為る星のる 全 全 石 邨 竹
 文月よ来ぬややのる 相州 全 全 嘉 上
 万代の秋のまらるる日の傳つ 鳳 朗

残暑

初秋や去ま——あふまふか
水ふらけ口の鳥くまふ残暑
涼し暑も秋とささくや山の重
階るとは心もあまてのつらさ
阿の重のふさふ残暑
残しあしてハ極法き暑小
板のまふ秋風度残暑
内月をり重あひあぬ花火
あつ花火早あまてささく
あつまてささく——花火
是元よおのつらぬささく
極しつらぬとまてささく

風齋 貴山 悠平 芭竹 千春 萱岸 學石 江便 河染 得無 北揚 都久叢

花火

初嵐

極しつらぬとまてささく
涼し暑も秋とささくや山の重
階るとは心もあまてのつらさ
阿の重のふさふ残暑
残しあしてハ極法き暑小
板のまふ秋風度残暑
内月をり重あひあぬ花火
あつ花火早あまてささく
あつまてささく——花火
是元よおのつらぬささく
極しつらぬとまてささく

風齋 傾西 枯十 佳風 九華 風齋 卓池 柳園 茂推 乙良 丹嶺 柳年

稻妻

極しつらぬとまてささく
涼し暑も秋とささくや山の重
階るとは心もあまてのつらさ
阿の重のふさふ残暑
残しあしてハ極法き暑小
板のまふ秋風度残暑
内月をり重あひあぬ花火
あつ花火早あまてささく
あつまてささく——花火
是元よおのつらぬささく
極しつらぬとまてささく

七夕

稀きよひとつめは食ふ泊り
七夕や少寝るるれい金にのそ
桐様や青よりまあるこそとら
七夕や青よりまある牛の角
七夕や白よりまあるまき
七夕やつねとつめ青のそ
星今宵我も格様とま白
星よ星のまきつれとま白
星のま白ふふ秋はあつり
青とつめおとら星のま
星ある灯のつり今も隣り
このそとあつめとつね

鳳石
乙良
白龍
全全
全全
全全
全全
全全
全全
全全
全全

星の手向

星迎

豆合

とまひしてまらやまむら
星よ星のまきつれとま白
星のま白ふふ秋はあつり
青とつめおとら星のま
星ある灯のつり今も隣り
このそとあつめとつね

波文
青扇
五本
都久
雀更
杜鵑
虚白
卓池
淡豊
山河
山計
風外

銀河

迎鐘

送火

燈籠

送火や裾ゆきゆく人を
 送火やふせつられてまう焚
 夕のとみゆきゆくあり送鐘
 うき秋のうき煤人や送鐘
 送火やたえよと山のまきゆく
 送火や月をゆくまよふまう
 送火のまゆけを名所ト
 送火や頂あつらうまの上
 送火や人よまきゆく
 送火のあふ島のれき燈籠
 送火よりゆくまの燈籠
 送火のれきをゆく流るる

梅空
 白駒
 机静
 都久蒙
 蘭石
 全全
 草池
 瓜正
 撫琴
 鳳朗
 樓翁

高燈籠

撰侍

あふこくは世のまじり燈籠
 燈籠の月や明るまの並ひ
 とき方ふげくまの燈籠
 燈籠のまのまのまの燈籠
 おとんやいれまのあふ燈籠
 燈籠のまのまのまの燈籠
 燈籠のまのまのまの燈籠
 燈籠のまのまのまの燈籠
 燈籠のまのまのまの燈籠
 燈籠のまのまのまの燈籠

千年
 萬籟
 雀賀
 文賀
 杜蓼
 挑之
 梅室
 湧瀧
 西馬
 千春
 今春
 見路
 駿河

踊

松竹や石の中 舞む松の裾
歌の音いほひのぬりぬ 舞 踊
うゝとぞそよそよふあひの踊 踊
よる年小きくぬ 月あや一十 踊
とらふ子の月ふあやぬ 柏子 踊
ゆもくくあひくさる 浦の踊 踊
こゝろくもあひあひの踊 踊 踊
夕と夜の間うあややあひぬり
秋月や花の歩りあの中
あひの夜中あひのさけ 踊 踊
はりくはりくあひあひあひあひあひ
冷くとおひさけくさのさ

杜 湖 松 有 全 全 碩 由 露 英 櫻 既
驚 雪 竹 卜 水 菅 眼 文 園 醉

露

白露

露の珠

清い目のさくんとあやうやあひの露
清はやあひあひとぬりぬ 露
あやうやあひあひあひあひあひ
あひのあひあひのあひあひあひ
と日月の入るあひあひの露
あひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひ

蓬 竹 崔 柳 撫 卓 青 逸 湖 虚 礪 碓
雨 烟 定 園 松 池 蟬 澗 雪 白 山 嶺

草の露

露時雨

梅

泣きしり泣きしりあけりあけり
 秋のしづかにあけりあけり
 月夜の宵ハさりさりの露
 うけしるす灯ハ細く草の露
 玉月夜のしづかにあけりあけり
 ぬきしりぬきしりあけりあけり
 花のしづかにあけりあけり
 梅子の印はあけりあけり
 露のしづかにあけりあけり
 梅のしづかにあけりあけり
 梅のしづかにあけりあけり

梅室
 龜言
 其潮
 暉也
 人河
 犀河
 柳岡
 桔十
 碓嶺
 向成
 護物
 南亭

桐一葉

柳散

落きて相日のしづかにあけり
 身もやあけりあけり
 二階のしづかにあけり
 中庭のしづかにあけり
 ささるるるるるるるるるる
 桐一葉のしづかにあけり
 たりしりたりしりあけり
 春やけりあけりあけり
 春のしづかにあけり
 春のしづかにあけり
 春のしづかにあけり

董崖
 柳石
 御風
 梅士
 溶々
 方汀
 白駒
 白駒
 砥山
 風齋
 逸洲
 都久
 山中

菰

白麩ふくろのぬきぬき一やうく
あつたあつたうりあつたあつたのぬ
松風のぬきぬきあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ

菰 年
風 齋
飯 窓
梅 室
太郎 齋
淡 齋
一 朗
涼 菰
小 魚
風 齋
一 齋
山

鷄頭

葉鷄頭

あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ

鷄頭
一 齋
山

紫苑

我木香

芭蕉

あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ
あつたあつたあつたあつたあつたのぬ

萬 嶺
確 嶺
暉 潮
岐 山
乙 良
確 嶺
飯 齋
一 具
拈 十
雲 裳
確 嶺
鳳 嶺

土

蕎麥花

瓢瓜

あけさうの蕎麥花　　いよめの花
まはるやいよめをまきて花の花
くもの白を晴しあけさうの花の花
あけさうのやのまきや花の花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花

蓮宇　暉潮　撫松　岐山　九起　哥月　眠長　竜昇　桂山　蓮宇　小魚　碓嶺



瓢

西

烟

秋

瓜

蟬

あけさうの蕎麥花　　いよめの花
まはるやいよめをまきて花の花
くもの白を晴しあけさうの花の花
あけさうのやのまきや花の花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花
あけさうの蕎麥花　　いよめの花

全拾九小香山香梅鼎桐柳風淡
十畢魚外雨室湖一壺外隻

寵馬

鳴るよふ人 舞力 振の びくくう 好
火と 舟も 曲愛く しくわ 知の びくく
坊の 一の 産の しくま びくく びくく
おの 目や する 産の しくま びくく
その 振る 産の びくく びくく びくく
何處 何處 びくく びくく びくく びくく
とん びくく や 水と びくく びくく びくく
坊の びくく 坊の 産の びくく びくく びくく
びくく びくく びくく びくく びくく びくく
びくく びくく びくく びくく びくく びくく
まあ びくく びくく びくく びくく びくく

其 夷 和 金 全 全 梅 鷄 岳 一 暉 以
山 則 昇 挂 室 周 鳳 豐 潮 兄

蜻蛉

鳴子

後 萩ハ 川の 新 鳴る くとん 日 飛
鳴子 びくく びくく びくく びくく びくく
鳴子 びくく びくく びくく びくく びくく
小坊 びくく びくく びくく びくく びくく
びくく びくく びくく びくく びくく びくく
とん びくく びくく びくく びくく びくく
幼 名ハ びくく びくく びくく びくく びくく
人の 親の びくく びくく びくく びくく
中 途の びくく びくく びくく びくく びくく
人の 事 びくく びくく びくく びくく びくく
びくく びくく びくく びくく びくく びくく
年 びくく びくく びくく びくく びくく

風 可 九 乙 霞 長 季 千 梅 一 北 眠
齋 厚 末 良 涯 莊 春 春 筵 具 揚 長

紫山子

既望

十六夜や 鶴あきさきのねと 秋の
十夜後や 戸塚の若の夢 雨の
つとつとや ちりちり 新のぬ 秋の
十六夜や 海うらふら 風をの 陽の
十夜後や ちりちり 新のぬ 秋の
いささか ちりちり 目さしや 匠の
いささか ちりちり 目さしや 匠の
いささか ちりちり 目さしや 匠の
いささか ちりちり 目さしや 匠の
いささか ちりちり 目さしや 匠の

茶山 芭竹 梅笠 鵬居 其遠 卓池 乙良 東山 全河 全松 周哉

秋月

花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月
花きよ 小敷さくら 花さくら 秋の月

全全 全全 全全 全全 全全 全全 全全 全全 全全 全全

星月夜

初汐

放生會

鬼灯

かゝる瓜熟す秋の日に経
き射る ちまをそめたり 天 風
あつたこの燈人抱く送りたり
鬼灯や比ふ二八のまのいのみ
ほらさやあふさくらぬハ売をのり
鬼灯の秋まきくくあふたり
鬼灯や花ハ侍る名て天くき
るまきさ 潮あつとれく 番 椒
まらぬれぬ 秋くきくき
鬼の威とく。一とやまきくき
番椒のの 序くきまきく

犀 井 卓 林 得 楠 潮 由 一 濱 露 乙
河 寺 池 曹 燕 石 堂 誓 照 吉 泉 樹

番椒

木賊川

川きあ秋のふりり 木賊川
川くく入日のあるとくは
ののくくあははくき
津船あめよく 梅る 梅 椒
綿ふくやからくくくく
三日月やませあや余る 綿 秋
宇治らのあやや 河や 綿の秋
この香やまきくきみ日
この川やまきく 狭き 尾
綿川やまきの入の信の山は色
君の代の産をまきくや山田川
まのあはさくくく 田川 附

完 美 為 山 梅 室 鳥 霞 萬 嶺 一 具 鼎 左 千 木 暉 潮 我 竟 松 年 緑 水

田 稻 川

掛
稻

落
穂

初
鴈

渡
鴈

川らぬ田のあはれ八日のそら山勢
 けさのさうちのさむる 田川 小
 綿のけさあのもく やおの舟
 まらぬやきふくさる 角田川
 くのけさや熱のけりのもくさむる
 つららぬぬえの地根や落穂さ
 りさのぬえのさむる 露 穂 小
 新うらふ子のけりさむる 露 穂 小
 紗フのさぬさむる 鳳 穂 小
 まらぬやあふさむる 岐 穂 小
 紗フのさぬさむるのまき 霜 穂 小
 丁あや月やさむる 嵐 穂 小

玄子 易足 太喬 石膳 市井 河梁 露井 小魚 鳳朗 岐山 霜崖 嵐山

酒

鳴

すておてえさむるけり 後る丁
 られてえさむるあおる 后る丁
 さむるけりあおるあふさむる 后
 后るけりあおるあふさむるのうへ
 月伐ふあふさむる丁のをさむる
 けりあふさむるあふさむるのあ
 まらぬさむるあふさむるのあ
 りうあふさむるあふさむるのあ
 けりあふさむるあふさむるのあ
 丁あふさむるあふさむるのあ
 けりあふさむるあふさむるのあ
 けりあふさむるあふさむるのあ
 けりあふさむるあふさむるのあ

而后 岐山 茂推 溶々 金令 江洋 掬月 祇白 都岐 岐山 秋桂 木知

黄菊

野菊

くろくろや糸ふきつらう菊の花
くろくろいふくくみと葉の白く
葉のやわらかくきく相あつら
葉の葉のるやうきく葉の花
葉の葉のふきく葉の葉
白くくくくくくくくくくく
眼の果やとくくくくくくく
葉の菊くくくくくくくくく
もくくくくくくくくくくく
七粒くくくくくくくくく
つくくくくくくくくくく
さくくくくくくくくくく

馬湖
信野盲人
只遊
多代女
林曹
魯長
挑峰
玩甫
千春
淡叟
嵐窓
全全

枳

栗

斗るれくくくくくくく
けちハくくくくくくく
おくくくくくくくくく
枳くくくくくくくくく
きくくくくくくくくく
枳くくくくくくくくく
あくくくくくくくくく
栗くくくくくくくくく
えくくくくくくくくく
栗くくくくくくくくく
ぬくくくくくくくくく

夷則
才長
迎松
左静
黄山
金山波
水竹
為山
夜白
桔玉
懐玉
碓嶺

椎實

木の實

薬切

木綿摘

龍田姐

實より実ふなりつてん事ちれ推す年
 椎の實也や落てるるも木綿の名
 るくすくおとぬりなり数木の實
 葉の戸や木の葉ハ枯らぬ入はる
 灸の痕なり子比る也木の葉なり
 とく從の自愛もこそは葉切
 浮世木のこも事とせん葉ほり
 摘くして葉とくぬき木綿摘
 せらゝ木のらんあえんは木綿摘
 指んぬしておろし木綿摘
 海山く風や吹くん龍田姐
 ぬき木の葉とくぬき木綿摘

丁知 小魚 南枝 丁知 風齋 半翠 飯俵 鶯室 松臺 全井 露井 惟草

紅葉

秋田娘く紅葉をこそは木の葉
 鬼打ふくつりそのりりる田媛
 川に飛く紅葉とぬりぬ葉の山
 紅葉のりけの深しん紅葉小
 系りくぬき葉凡もくぬき紅葉小
 くの田和ふ葉ふ紅葉小
 紅葉とすてえうつる紅葉小
 紅葉とすてえうつる紅葉小
 紅葉とすてえうつる紅葉小
 紅葉とすてえうつる紅葉小
 紅葉とすてえうつる紅葉小
 紅葉とすてえうつる紅葉小

壽鯉 岱年 万笑 和春 茶山 机静 幻外 梅堂 一賦 楨山 悠々 卓老

葛紅葉

草紅葉

火と焚くも煙ののこるおまふ
 香ふと西風の色のうつろふ
 焚くまきくおまふ山家
 日のちてまこ日ののらぬおまふ
 高松
 号おまふ日御の秋けり
 秋志ぬおまふ秋の草おまふ
 淡
 けりぬとまふおまふ
 坂田
 おまふおまふおまふ
 駿河
 中隠のまふおまふ
 加賀
 まふのまふとつらぬおまふ

鷹二
 只山
 都久裳
 霞橋
 白駒
 縣山
 淡叟
 歆月
 篤志
 亮美
 碧山
 悠平

末枯

鹿

依るの湯の地蔵やまおまふ
 ま枯や舟うまおまふ
 うら枯よ捨おまふ
 末枯やうらむけハまおまふ
 萩 芒世ハ末枯とぬよけり
 海にぬきおまふ
 荒れぬとやまおまふ
 我れおまふ
 阿
 阿
 孤
 陽
 全

風齋
 季春
 菊人
 溶々
 茶外
 卓池
 旬光
 阿園
 孤山
 陽山
 全

雜

穂金の鳥羽川らるるや秋の紅葉上毛 千、隣
 秋の日のさびや露の香中うら 鼎、湖
 霜寒ふらふら秋の夜うらうら 瓜、正
 けりらるる木の葉うらや秋の夜 潮、堂
 せりせりの生り秋の日は小北越 一、風
 ねりらるる海は波うらうら 双、鴈
 波あき風の白くやうらうら 全、子
 雲の流の遅くありぬ秋あ信州 子、華
 二三日の後の波うらうら 小、嶺
 そらうらうらありぬ秋あ信州 掬、月

俳諧茶句の百題秋の部

小菘菴確嶺選
 柳廼屋風齋校

十月 十夜やるのむらさきの山 一九 起
 十月や車乙のまきうらうら日信州 一 朗
 十月や林も秋まきうらうら日和 萬 嶺
 十月のまきうらうらうら日全 其 山
 十月のまきうらうらうら日青梅 机 邦
 十月のまきうらうらうら日青梅 苞 竹
 十月のまきうらうらうら日青梅 苞 竹

神無月

神迎

夷講

井のまゝとてわきとて林のあちまゝとて
河に世あつてつり 井比く
津遠おくくぬくわおくくつり
ころは門くくおくく津遠へ
吹のよきぬのまゝくく夷 講
かゝる戸くくおのよくく夷 講
隣くくまゝとておくくえんくく津
くくくくくくくく夷 講
ゆくくおくくおくく夷 講
夷一るくくおくく夷 講
得耳のくくおくくえんくく津
紙をまゝくくくく夷 講

由誓 茶静 逸淵 露井 卓池 淡夷 菊莊 金 飯 竹 梅 嵐
常とら

達磨忌

十夜

身ノ名やゆめあふあふの美一とくい
身ノ名やゆめあふあふの美一とくい
達子名や敷へつとと極木作
達子名や序あふあふ巨魁きる
達子名や破の中踏くくおくく
達子名や風小吹くくくくの松
吹くくくくく十夜の名跡く
あふあふあふあふのれく十夜く
畑くくくくくあふあふくく
あふくくくくく十夜の人のお
くくくくくくくく十夜く
くくく我子居くく十夜く

得三燕 畧水 黄山 千春 李腰 風齋 山子 太橋 卓郎 鳳朗 其山 鸞室

信州

ちくろれびくろくろ尾のくろくろ
 町ありあるをか山のゆふくろ
 大板の畑くろくろはくろくろ
 ろのまよふ海まよふくろくろ
 ちくろくろはくろくろくろくろ
 一時あるくろくろくろくろ
 中くろくろくろくろくろくろ
 松風とくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ
 くろくろくろくろくろくろ
 岸のくろくろくろくろくろ

霞 橋
 鷹 二
 梅 堂
 梅 塵
 一 旭
 秋 朝
 全 力
 餘 山
 縣 徳
 志 山
 雲 裳

信下知
 相州
 信州
 全

小夜歌

ちくろくろくろくろくろくろ
 十月ありあるをか山のゆふくろ
 くろくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ
 ちくろくろくろくろくろくろ

聖 石
 乙 樹
 全 全
 松 華
 濤 鯉
 雄 崖
 暉 潮
 双 鷗
 幻 外
 風 外
 守 一

信州
 五

雪車

雪打
雪吹

雪の車もあつてあつてきりてきりて
雪の打もあつてあつてきりてきりて
雪の吹もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて

白 鴉
茶 靜
杜 鷺
逸 章
多 代 女
黄 山
蓬 翠
全 全
逸 淵
西 馬
一 飄

棧

美

震

雪車もあつてあつてきりてきりて
雪の打もあつてあつてきりてきりて
雪の吹もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて
雪の舞もあつてあつてきりてきりて

半 山
確 嶺
湖 雪
都 久 裳
確 嶺
桃 之
茶 靜
岱 年
水 竹
丹 嶺
徳 平
且 明

手とりや電燈をそとに
 袖のくと望みしは海や玉霞
 風やあつらふて橋のしら
 本枝や石二のきりあつての山
 風のあつていふくあり階の水
 本枝とまきうたきやあつたの夜
 風やあつたまきあぬ舟のち
 海のききうらうらうと波ふたりの
 本枝のふたれききあつたの月
 風や海ふあつたききあつたの雲
 うらうらうやうらうとあつたの歌
 何とあつた本枝のちく何あつた

黄 確 悠 襟 全 全 社 千 一 白 九 風
 山 嶺 々 園 全 春 豊 峰 起 齋

巨 燧

火 桶

置 巨 燧

分ありありふたき巨燧
 けりあつたあつた火のあつた巨燧
 ききあつたあつたあつたあつた
 今日の日はあつたあつたあつた
 灯のあつたあつたあつたあつた
 娘人の輝をあつたあつたあつた
 つれをききあつたあつたあつた
 岸のあつたあつたあつたあつた
 大平のあつたあつたあつたあつた
 うしろあつたあつたあつたあつた
 窓あつたあつたあつたあつた
 是るあつたあつたあつたあつた

東 卓 多 茶 黄 一 風 小 貝 菊 瓜 苞
 垣 郎 代 静 山 層 齋 山 石 泉 正 竹

湯婆

花もつらふらうほめらうく火桶は
指のまゝく草く少火桶をまきと
花もつらふらうほめらうく火桶は
松風のまゝくれてまきく相火桶
灰ッまゝく湯婆はあふ飯ある
言所の龍泉と名ふ湯婆は
新くの湯婆とあくる流う飯
ゆつとあふ火桶の方のまき桶は
花もつらふらうほめらうく火桶は
日のとれてまきく草く火桶は
新くまゝく草く火桶は
新くまゝく草く火桶は

太 虚 太 湖 一 都 暉 乙 我 松 一 樸
拳 白 老 雪 層 久 潮 良 竟 雨 草 翁

火鉢

草花

稻花

芙蓉

草花もつらふらうほめらうく火桶は
指のまゝく草く少火桶をまきと
花もつらふらうほめらうく火桶は
松風のまゝくれてまきく相火桶
灰ッまゝく湯婆はあふ飯ある
言所の龍泉と名ふ湯婆は
新くの湯婆とあくる流う飯
ゆつとあふ火桶の方のまき桶は
花もつらふらうほめらうく火桶は
日のとれてまきく草く火桶は
新くまゝく草く火桶は
新くまゝく草く火桶は

帝 暉 眉 一 茶 駝 柳 苞 梧 林 碓 三
年 潮 山 旭 外 岳 眉 竹 十 曹 嶺 岳

蕎麥花

縹瓜

湖くまの鳥あゝいぬの 花
きりやひらけりかきそ 花の花
くらのとて晴ふ花うら 花の茶
ゆくらあゆのうらまや 花の茶
新自ハ花あ一返く 花の茶
眠ふして刈わとまゝ 花の茶
眠ふる自のひらけり 花の茶
文科ハ花あまゝ 花の茶
乞ふの 花の茶
かあうら 花の茶
あうらと 花の茶
まゝの 花の茶

蓮宇 暉潮 撫松 岐山 九起 哥月 眠長 竜昇 桂山 蓬宇 小魚 確嶺

炭

表

人あてあうり 借こく小寺か
らうらとて 借やのまこか
まゝとて 借やのまこか
新のゆりく 人あてあうり
掃よせふとて 借やのまこか
まゝとて 借やのまこか
炭をひて 借やのまこか
炭をひて 借やのまこか
炭をひて 借やのまこか
炭をひて 借やのまこか
炭をひて 借やのまこか
炭をひて 借やのまこか

金令 萬里 卓池 石外 碧山 墨芳 慶鳥 全全 尾張 烏律 有節 豊後 春和

紙
夜

若別とれハ燈あらしめれき舎子
はらふ心きて雲さりりや馬路屋
紙舎押つるのれハふくまらる
書のはらふれ限るまをさる少
むらぬくくの中りぬく紙衣子
紙子とるくハの縁を帯りたり
若別とれハ燈あらしめれき舎子
まらふくくハと燈して見る紙衣子
ふあふくハと燈して見る紙衣子
紙衣子とて若別とる紙衣子
若別とるのぬくくハと燈して見る紙衣子
若別とるのぬくくハと燈して見る紙衣子

茶 卓 風 風 卓 一 春 梅 玉 双 風
静 池 外 齋 池 春 豐 庇 園 芝 鷗 齋

布
團

おめられてまらる紙衣子
紙衣子とつあらしめれき舎子
一月向あててはあらしめれき舎子
月の是てあらしめれき舎子
くけえてあらしめれき舎子
ぬくくハと燈して見る紙衣子
布衣子とつあらしめれき舎子
舟者のくけえてあらしめれき舎子
つとあらしめれき舎子
担川のあらしめれき舎子
紙衣子とつあらしめれき舎子
とらふくくハと燈して見る紙衣子

硯 露 雜 凡 淡 祇 由 而 夷 草 卓 雀
扇 各 飛 外 史 白 誓 后 則 子 郎 樓

頭
巾

花入子のゆふゆくく 懐のけ
 世々も 羅も 是也の 妙なり け
 こころと くの日の 外を 懐へん
 さへくくは 雁うけて 有鳥 霜
 あやうくくも 得多し 本質 霜
 是れくくくくと 白ふ 霜 霜
信州
 今 嘗て お母家の ころも あや 丈外
 皆 百日 従はし けたり や 霜 霜
 こころと 人の 懐へん あり あや 丈外
 信守の 懐へん 懐と のくくく 霜
 懐へん 懐へん 懐へん 懐へん

白 龍
 全 全
 全 全
 全 全
 全 全
 全 全
 全 全
 全 全
 全 全

冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ
 冬の小新 標を とく 思ふる こ

全 全 全 全 全 全 全 全 全 全
 頂 嶺 竹 嶺 半 萬 迎 露 得 蒸

枯野

あはれいささかのとくくを望み
徒のうらみほらゆるを野に
あはれいささかとおあるを野に
まろのほをえこもるを野に
はるのうらみほらゆるを野に
うらみほらゆるを野に
まろのほをえこもるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に

湖雪 旬光 溶存 不存 為山 可放 九華 鶯朗 鳳橋 霞棹 月賞 淡史

木葉散

落葉

人さうりくくはゆるを野に
風のまのま車うらみほらゆるを野に
砂まふ終のうらみほらゆるを野に
日のまのま車うらみほらゆるを野に
地まふ終のうらみほらゆるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に
あはれいささかとおあるを野に

有節 露井 菊人 山外 流芝 梅室 佛孫 鳳皇 一具 清風 全全

紅葉散

一志をさう禁ふ道りくく落葉ふか
そとよせてあふより多き落葉ふか
ふふきて舟の影えたる落葉ふか
穉多の村や落葉ふか
吹きまてふ落葉ふか
若きよふ落葉ふか
掃よせて流しゆく落葉ふか
ちりよふ落葉ふか
風のつくおもしろく落葉ふか
を枯やほそむるあふく
をうねる水つるあふく
を枯や葉あふく

不存
鳶室
濤鯉
雙鷗
梅室
鳳朗
由之
風齋
確嶺
卓池
蓮宇
立宇

冬枯

冬木立

歸花

を枯や葉ふく川
あふくを枯や葉ふく川
空をうりてを枯や葉ふく川
けしきよくを枯や葉ふく川
吹きまてを枯や葉ふく川
落葉ふかを枯や葉ふく川
本のふかを枯や葉ふく川
ちりよふを枯や葉ふく川
中を枯や葉ふく川
吹きまてを枯や葉ふく川
けしきよくを枯や葉ふく川

其瑞
杜鰲
九夏
柳眉
芥舍
逸洲
確嶺
老霞
阿公
阿公
流芝
可言
無著

各木櫻

石の根は雪のうららけに
花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは花のうららけ
花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは花のうららけ
花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは花のうららけ
花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは花のうららけ
花のうららけは雪のうららけ

長 秀 五 木 全 全 木 全 全 木 全 全 木 全 全
莊 蟻 調 翠 芝 居 聽 々 諫 泉

枯柳

枯柳のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは枯柳のうららけ
枯柳のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは枯柳のうららけ
枯柳のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは枯柳のうららけ
枯柳のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは枯柳のうららけ
枯柳のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは枯柳のうららけ

東 五 悠 兩 桐 全 全 木 全 全 木 全 全 木 全 全
泉 諫 々 聽 居

茶花

川花やさきちの枝花
うららけは雪のうららけ
雪のうららけは川花のうららけ
川花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは川花のうららけ
川花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは川花のうららけ
川花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは川花のうららけ
川花のうららけは雪のうららけ

山 文 一 林 流 太 一 卓 金 而 梅 素
骨 甬 曹 曹 芝 喬 池 桂 后 室 人

山茶花

山茶花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは山茶花のうららけ
山茶花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは山茶花のうららけ
山茶花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは山茶花のうららけ
山茶花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは山茶花のうららけ
山茶花のうららけは雪のうららけ
雪のうららけは山茶花のうららけ

素 梅 而 金 卓 一 卓 金 而 梅 素
室 后 桂 池 桂 后 室 人

枇杷花

山茶花や花と見付の垣の内 如藤 柴人
 山茶花や花と見付の垣の内 一 一具
 又と見付の 乙 乙良
 枇杷花や花と見付の 湖 湖雪
 枇杷花や花と見付の 由 由誓
 階の隅の隅 阿 阿公
 花と見付の 一 一豊
 花と見付の 河 河梁
 花と見付の 世 世十
 世の中 謝 謝堂
 世の中 多 多代女

八羊花

冬牡丹

寒菊

水仙

冬牡丹 青 青扇
 寒菊 萬 萬志
 水仙 既 既醉
 冬牡丹 全 全
 寒菊 茂 茂推
 水仙 虚 虚白
 冬牡丹 太 太珉
 寒菊 由 由誓
 水仙 只 只山
 冬牡丹 守 守彦
 寒菊 信 信州
 水仙 司 司馬

枯
芦

水が穂の印さちあつては枯草
うねてこゝろきつてあつてきつて
枯草よふすませてあつて一枯川
枯草のさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
のさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日

佐
渡

疾

悠々 雀樓 雀樓 注洋 一十 梧具 如春 良談 潮堂 柳園 一素 凡齋

枯
菊

枯菊のさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日

麥
蔣

麦蔣のさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日

甲
斐

大
根
曳

大根曳のさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日

豊
凌

武
州

確嶺 菅守 葺居 瓜正 梅壺 梧十 松丘 萬嶺 卓池 三桂 卓池

干
菜

干菜のさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日
つらねのさきまはほのちつて日

三
王

卓池

葱

泊千葉中使送をさうりたり
夜に池のまきして起く千葉相州
是の暇の彩るは家や泊千葉
妙見少くうまゆりくおきき
おやしのあまうまや根はけ
毛の毛も持つてある根原
あまうまさけくひる日
おののまの替りくはく網代
おののまの替りくはく網代
おののまの替りくはく網代
おののまの替りくはく網代
おののまの替りくはく網代

木 芝 餘 力 都 久 裳 佛 兒 洗 耳 嵐 外 万 古 鼎 左 白 鷗 白 吳 羊 幻 芝

網代守

霖

水 鳥

生海嵐

何ろもあつて像のおき人
あまの息を振りぬきや網代
柴炭をいふおれい入る守の
霖や女の袴のしりと
うー法やゆきまうまの
霖やのそけいけいり我
まを海ふゆきく世中と
あまのあつていもつらぬ
あまのあつていもつらぬ
あまのあつていもつらぬ
あまのあつていもつらぬ
あまのあつていもつらぬ

露 井 倚 了 魯 僊 一 具 茶 靜 梧 十 縣 山 由 誓 舍 翠 士 苦 梅 室 小 魚

鴨

水もや三日母低く出てまは
るきの之や高し母のまむ
水もやあうまうなる鳥にせぬ
あまやあまうくくの西のり
あまのなをまうくくや鳥の母
水もやの南くまをまをまは交
鴨多し橋まうくくまのり
あまの白鴨あまのりつこく
鴨の背のまうくくまのり
柳中いあうくくまのり
水あひ一陰くくく鴨の考

述

信州

筑前

阿波

豊後

柳園 曲江 有木 為山 可厚 茂稚 稚已 幻外 小川 蘿彦 葡萄 崔人 叟

小鴨

鴨あくや毛アロし母ふくくく
水もやあうまうなる鳥にせぬ
あまやあまうくくの西のり
あまのなをまうくくや鳥の母
水もやの南くまをまをまは交
鴨多し橋まうくくまのり
あまの白鴨あまのりつこく
鴨の背のまうくくまのり
柳中いあうくくまのり
水あひ一陰くくく鴨の考

作者

金今 卓池 有隣 有節 太喬 芳英 蘿彦 月底 見外 擇翠 梅通 淡叟

千鳥

浮城鳥

友千鳥

信のつゝとつらや少敷ふき
そは信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥

可 談 机 宜 長 一 鳳 其 大 茶 湖 風 萬
静 明 莊 具 朗 山 莫 静 雪 齋 嶺

鴛鴦

信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥
信のつらや少敷ふき鳥

逸 喜 全 全 茶 思 而 完 茶 原 柳 金
州 月 静 外 后 伍 静 呼 室 今

鷓鴣

雪のりれととあつりそとそと
りのそととそとそとそとそと
雨とそとそとそとそとそと
雪のりれととあつりそとそと
雨とそとそとそとそとそと
雪のりれととあつりそとそと
雨とそとそとそとそとそと

和春

李曠

文老

松華

梅通

岱年

葛阿

呂史

湖雪

餘力

冬 蠅

霜 月

雪のりれととあつりそとそと
りのそととそとそとそとそと
雨とそとそとそとそとそと
雪のりれととあつりそとそと
雨とそとそとそとそとそと
雪のりれととあつりそとそと
雨とそとそとそとそとそと

冬 至

雪のりれととあつりそとそと
りのそととそとそとそとそと
雨とそとそとそとそとそと
雪のりれととあつりそとそと
雨とそとそとそとそとそと
雪のりれととあつりそとそと
雨とそとそとそとそとそと

梅 重

風 外

池 明

鳥 石

鼎 湖

波 文

萬 嶺

蓬 宇

碓 嶺

風 齋

秋 朝

鷓 志

冬 至 梅

曆賣

里神楽

子祭

こころのつらやうやうに
 春のちりやうに
 ちりやうに
 やうに
 ちりやうに
 やうに
 ちりやうに
 やうに
 ちりやうに
 やうに
 ちりやうに
 やうに
 ちりやうに
 やうに

秋 柱
 松 十
 卓 郎
 水 遠
 一 具
 嵐 外
 一 曲
 柱 楽
 全 全
 金 金
 金 金
 吳 翠

空世忌

本抑

空世忌は、空世忌の
 本抑は、本抑の
 空世忌は、空世忌の
 本抑は、本抑の
 空世忌は、空世忌の
 本抑は、本抑の
 空世忌は、空世忌の
 本抑は、本抑の

確 嶺
 谷 崔
 五 調
 文 雲
 茶 靜
 而 后
 湖 束
 見 路
 瘡 帝
 梅 通
 鳥 谷
 鳳 朗

納豆

河豚

鯨

まきふまきふまきふれー

多代女

ゆりねしほきりりり

得蕉

糸の名はきりりり

卓郎

花の御姿の湯あかぬけ

梅室

一袋とりし人きりりり

御風

縁ぢやきりりりりり

潮堂

縁會りりりりりりり

潮深

縁きりりりりりりり

南枝

縁側や片きりりりり

鵬居

縁傍や花の名きりりり

風斎

縁御百中ありりりり

拈十

縁ねと人のとよき

李春

藥喰

生薑酒

鶏卵酒

何れにりりりりりり

連流

小原のほりりりりり

林霞

かきりりりりりりり

山外

かきりりりりりりり

蓬守

かきりりりりりりり

士筆

かきりりりりりりり

荇舎

かきりりりりりりり

荅豊

かきりりりりりりり

金桂

かきりりりりりりり

金桂

かきりりりりりりり

文路

かきりりりりりりり

文路

鷹

人の世いそそく切り玉子
 老いのよゆめ下くそく老い玉子
 鷹の飛の老くそくそくおのれ
 村のまゝ捨りてまゝなり鷹の
 一さしに群生のおれら鷹場
 けりてし鷹の老の老集れ
 くらぬのそくお月すむ鷹の
 老くそく鷹の老の老人の中
 けりてし鷹の老の老人の中
 けりてし鷹の老の老人の中
 けりてし鷹の老の老人の中

文路 全河 州人 茶静 梅室 屏河 由誓 拾十 迎祥 舍翠 芦江

暖ノ鳥

寒共鳥

事始

師走

けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて
 けりてきりてまじりて

雀 叟 多代女 石膳 八馬 萬嶺 碓嶺 岐山 千魚 一具 有隣 凡齋 允和

臘 八
寒 入

若くはそとの雪なる志をそと
雪つまき入るて昨夜の月夜に
市平ハ大名流と志をそと、如
方角のりしふ冬より、昨夜に
出さるれハ枝あ先ある所是か
梅も咲きも、一ひらき、これ
備八や山をそと、枝のそ
らふ八やあハ枝と、雪の山
臘八や品あし、そこのよ、雪山
吸流も息のうらや、そこの入
いら志、うら、月と、ぬき、の入
枝、枝の、あ、は、は、は、寒、の、入

柳 眉
岱 年
河 梁
見 外
其 山
風 齋
多 代 女
一 具
凡 研
多 代 女
台 々
卓 池

寒 月

竹あ、そ、と、お、える、宇、や、そ、の、入
か、こう、き、梅、の、冬、や、そ、の、入
冬、月、や、男、も、つ、り、の、瑞、仕、奉
冬、月、や、か、茂、の、社、ハ、流、中、へ、る
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は
冬、月、や、冬、の、時、来、ハ、美、も、あ、は

枯 十
凡 齋
五 竹
木 芝
今 今
全 室
梅 室
茶 静
虚 白
万 頃
宇 南
凡 外

信川

寒 声
寒 念佛

緯の中、あ、うら、そ、念、佛

終る

年取

厄拂

年内春

ささみのつらさそ風やぐ枝らぬ
 さは枝まゝある年のまじくご
 方少くおめあしゝあるふれうぬ
 りともお買うてくともあふれ
 ぶあふあうこ年たれゆきくえ
 とくはれん方くさきまをきこり
 け拂ちらうてあふふ又印とり
 へ一まのぬむゆさうへ厄拂
 まさうあてふさうりぬ年の内
 とりの内のまやふのくぬむと
 年の内のまや枝のゆさくへ
 け枝とちをきぬむや年の内

風 斎
 千 喜
 木 芝
 全 木
 全 木
 心 木
 逸 洲
 一 具
 枯 下
 毎 室
 都 裳
 菟 竹
 一 具

餅搗

節季候

餅つきのあまのつらやらの敷
 きてすえ内のてんあへんあ
 既つまやあねもふあ家の
 既つまやあねもふあ家の
 ともはれてすえゆきり餅のま
 餅搗の焚火あつてさき焼か
 ちばあいのさういあまくあれり
 ちばあいのさういあまくあれり
 ちばあいのさういあまくあれり
 ちばあいのさういあまくあれり
 ちばあいのさういあまくあれり
 ちばあいのさういあまくあれり

田 鳥
 野 菓
 青 庭
 全 庭
 全 庭
 多 代 女
 黄 山
 茶 静
 吳 羊
 一 具
 嵐 窓
 全 窓

年の市

多き雪のや晴し一とくて磯磯く
吹つる一風のあはれとく年の市
四邊のや斗もとらうとく年の市
入おのうの賑はれやとく一の市
もや松もたれ入りも何うの市の
よきとく年の身よ余るや年の市
日中一少市もとらうやとく一の市
ゆいゆいのせいのきとくよ年の市
も二足もつ三倍とたてとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市

近江
信州

嵐 見 九 霜 今 全 楓 器 逸 如 嵐 湖
窓 外 起 朝 一 外 水 洲 水 外 雪

年 忌

歳 暮

行 年

多き雪のや晴し一とくて磯磯く
吹つる一風のあはれとく年の市
四邊のや斗もとらうとく年の市
入おのうの賑はれやとく一の市
もや松もたれ入りも何うの市の
よきとく年の身よ余るや年の市
日中一少市もとらうやとく一の市
ゆいゆいのせいのきとくよ年の市
も二足もつ三倍とたてとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市
とく一の雪もとらうとく一の市

信 一 茶 白 卓 而 確 木 木 全 全 且
之 具 静 駒 池 后 嶺 公 賀 裕

遠州

春近

まをこく西舟をさそくし
余のあふくえは板のまをこ
柳のせぬ舟の宿宿やまをこ
ゆをよりのまをこのまを板
まをこくおとまをと隣
梅のまのまをこ白くやま隣
まをこのまをこ限くは春隣
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ

梅室

萬嶺

秋柱

半山

露井

兎州

秋桂

碓嶺

逸淵

春水

春隣

大晦日

まをこく西舟をさそくし
余のあふくえは板のまをこ
柳のせぬ舟の宿宿やまをこ
ゆをよりのまをこのまを板
まをこくおとまをと隣
梅のまのまをこ白くやま隣
まをこのまをこ限くは春隣
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ

春水

全

菊

逸

碓

秋

兎

露

半

山

柱

萬

嶺

梅

室

除夜

まをこく西舟をさそくし
余のあふくえは板のまをこ
柳のせぬ舟の宿宿やまをこ
ゆをよりのまをこのまを板
まをこくおとまをと隣
梅のまのまをこ白くやま隣
まをこのまをこ限くは春隣
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ

洛

前

曲江

金令

茶靜

蕙里

黙池

文十

井眉

梅室

護物

田誓

其言

秋桂

岡見

年夜

まをこく西舟をさそくし
余のあふくえは板のまをこ
柳のせぬ舟の宿宿やまをこ
ゆをよりのまをこのまを板
まをこくおとまをと隣
梅のまのまをこ白くやま隣
まをこのまをこ限くは春隣
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ
まをこのまをこあまをこ

